

加茂市自主防災組織チェックシート（水害編）

記入日 令和 年 月 日

団体名 _____

水害や土砂災害が発生した際に、皆さんの地域で逃げ遅れによる犠牲者を出さないためには、事前に地域の災害リスクを把握し、災害の危険性が高まった時の対応をあらかじめ決めておくことが有効です。本チェックシートを活用して、地域の状況を確認するとともに、今後、自主防災会として行うべきことを明確にしておきましょう。

1. 大雨時の地域の災害リスク

水害時に適切に避難するためには、大雨時における地域の災害リスクを把握しておく必要があります。地域のハザードマップを確認して、災害リスクを確認しておきましょう。

地域の災害リスクに関して、あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

- ・ 浸水の危険も土砂災害の危険もない
- ・ 土砂災害の危険はないが、浸水の危険がある
- ・ 浸水の危険はないが、土砂災害の危険はある
- ・ 浸水の危険も土砂災害の危険もある
- ・ その他（ _____ ）
- ・ 今後、検討・確認する

浸水の危険がある場合には、どの河川が氾濫した際に浸水の可能性があるかも確認しましょう。

河川名（ _____ ）

2. 災害リスクに応じた適切な避難行動

豪雨災害から命を守るためには、地域の災害リスクを踏まえて、屋内の二階以上に避難する「屋内安全確保」か住居以外の避難場所に避難する「立ち退き避難」と言った適切な避難行動をとる必要があります。皆さんの地域ではどのような避難行動が適切か確認しておきましょう。

地域で考えられる避難行動について、あてはまるもの一つに○をつけて下さい。

- ・ 避難の必要はない
- ・ 一部、立ち退き避難をする必要がある世帯がある
- ・ 一部、屋内安全確保を図る必要がある世帯がある
- ・ 一部、立ち退き避難をする必要がある世帯と屋内安全確保を図る必要がある世帯がある
- ・ 全世帯屋内安全確保をする必要がある（自己判断により、立ち退き避難をする世帯も含む）
- ・ 全世帯立ち退き避難をする必要がある
- ・ その他（ _____ ）
- ・ 今後、検討・確認する

3. 避難場所の確認

豪雨災害から命を守るためには、適切な場所に避難をする必要がありますが、皆さんの地域の住民の方はどこに避難することにしているのでしょうか？多くの地域住民が避難する場所に◎を、避難する可能性がある場所に○をつけて下さい。

- ・ 指定避難所（避難所名 _____）を利用
- ・ 地域の施設（施設名 _____）を自主避難所として利用
- ・ 自宅の二階以上
- ・ 親戚や友人宅
- ・ その他（ _____ ）
- ・ 今後、検討・確認する

4. 行政からの避難情報の正しい理解

適切なタイミングで避難するためには、行政から出される避難情報（警戒レベルや避難指示など）について、住民の皆さんに正しい理解をしてもらうことが大切です。地域の住民の皆さんへの避難情報の啓発の状況について、あてはまるものに○をつけて下さい。（複数回答可）

- ・研修などを通じて啓発を行っている
- ・回覧やチラシなどで啓発を行っている
- ・住民各自に任せている
- ・その他（)
- ・今後、検討・確認する

5. 避難情報の伝達（レベル3発令時）

逃げ遅れを無くすためには、避難が必要な人などに適切に避難情報を伝える必要があります。「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」発令時、エリアメールなどの行政から市民への一斉連絡以外の方法で、町内として個別に情報伝達を行う必要がある人を確認しておきましょう。

発令時に個別に情報伝達を行う必要がある人に○をつけて下さい。（複数選択可）

- ・全世帯
- ・避難に支援が必要な人
- ・その他（)
- ・今後、検討・確認する
- ・役員・班長
- ・避難に支援が必要な人を支援する人

6. 避難情報の伝達方法（レベル3発令時）

避難情報を個別に伝達をする必要がある人たちに、どのような手段で情報伝達を行いますか？地域で行う情報伝達の方法について当てはまるものに○をつけて下さい。（複数選択可）

- ・電話による情報伝達
- ・SNSなどを活用した情報伝達
- ・その他（)
- ・今後、検討・確認する
- ・直接訪問による情報伝達

7. 避難情報の伝達（レベル4発令時）

「警戒レベル4 避難勧告」発令時、エリアメールなどの行政から市民への一斉連絡以外の方法で、町内として個別に情報伝達を行う必要がある人がいるか確認しておきましょう。

発令時に個別に情報伝達を行う必要がある人に○をつけて下さい。（複数選択可）

- ・全世帯
- ・避難に支援が必要な人
- ・その他（)
- ・今後、検討・確認する
- ・役員・班長
- ・避難に支援が必要な人を支援する人

8. 避難情報の伝達方法（レベル4発令時）

避難情報を個別に伝達をする必要がある人たちに、どのような手段で情報伝達を行いますか？地域で行う情報伝達の方法について当てはまるものに○をつけて下さい。（複数選択可）

- ・電話による情報伝達
- ・SNSなどを活用した情報伝達
- ・その他（)
- ・今後、検討・確認する
- ・直接訪問による情報伝達

9. 避難開始の判断

逃げ遅れを防ぐためには、適切なタイミングで避難場所へ避難を開始する必要があります。皆さんの地域では、住民の皆さんはどのタイミングで避難開始の判断してもらいますか。当てはまるものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- ・エリアメールなどの情報を基に各世帯で判断し、避難を開始
- ・班や隣近所で声を掛け合って避難を開始
- ・町内会の声掛けにより避難を開始
- ・その他()
- ・今後、検討・確認する

10. 一人で避難が困難な人(災害時避難行動要支援者)の把握

逃げ遅れを無くすためには、一人で避難が困難な人を把握し、災害発生前に避難の支援をする必要があります。避難が困難な方を把握できているか確認をしておきましょう。

当てはまるものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- ・班や隣近所などで把握できている
- ・町内全体で把握できている
- ・市からの避難行動要支援者名簿で把握している
- ・民生委員などと一緒に把握できている
- ・その他()
- ・今後、検討・確認する

11. 一人で避難が困難な人(災害時避難行動要支援者)の避難支援

避難情報発令時、一人で避難が困難な人(災害時避難行動要支援者)の避難を支援する必要があります。皆さんの地域において、一人で避難が困難な人を支援する人が明確になっていますか。当てはまるものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- ・班や隣近所などで支援する人が明確になっている(町内としても把握している)
- ・班や隣近所などで支援者を決めてもらっている(町内としては把握していない)
- ・町内として、避難を支援する人が明確になっている(避難支援の取り決めがある)
- ・その他()
- ・今後、検討・確認する

12. 避難後の住民の安否確認

逃げ遅れを防ぐためには、避難完了したかどうかの住民の安否確認が重要です。皆さんの地域では、住民の安否確認をどのように行いますか?当てはまるものに○をつけて下さい。(複数選択可)

- ・自主防災会役員等が避難場所で安否確認を行う
- ・自主防災会役員等が電話連絡により安否確認を行う
- ・自主防災会役員等が各世帯を確認し、安否確認を行う
- ・避難後に住民から自主防災会役員等に電話連絡をもらい、安否確認を行う
- ・SNSなどを活用して安否確認を行う
- ・その他()
- ・今後、検討・確認する

13. 自主防災会として検討・実施すべきこと

水害や土砂災害時の逃げ遅れを防ぐために、今後、自主防災会として検討・実施していかなければいけない項目について記入ください。

14. 今年度実施すること

上述の「検討・実施すべきこと」の内、今年度中に実施することがあれば記入ください。